

平成30年北海道胆振東部地震が発生！全組合員の力を結集し、難局を乗り越えよう！！

北海道は、9月に入り連続して発生した台風の被害を受け、復旧作業を進めていました。その矢先に9月6日、午前3時8分頃発生した、最大震度7の平成30年北海道胆振東部地震に襲われました。

1週間を経た9月13日現在（9月13日、北海道の発表）、死亡41名、重軽傷655名、避難1,576名におよぶ方々が被災されました。亡くなられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

全道的に停電や断水、山崩れが発生するなど大きな被害を受けました。さらに物流も滞り、食料や日用品の品薄状態も続いています。

鉄道においては、地震や全道全域におよんだ停電の影響により、全面運休を余儀なくされました。現在、安全が確認された区間から運行を再開し、全道的な目処は立ちましたが、全面復旧や通常運行までは時間を要することが予想されます。くわえて、節電のため列車の間引きを行っており、さらに計画停電が実施された場合の対応を求められる可能性もあります。

これらの状況を踏まえ、「出会いと感動 2018 函館・青森 旅のプレゼント」は中止いたしました。中止のお知らせに対し、参加を予定していた皆様からは、激励の声とともに、次回開催への期待と参加を熱望する声が寄せられています。

また、JR総連・各単組からも物心両面の支援がいち早く寄せられています。

現在、JR北海道労組の組合員・家族における人的被害や、家屋等の大きな被害は報告されていません。生活における不便や連続した災害対応による疲労が蓄積される中、JR北海道労組組合員は鉄道の全面復旧にむけて全力を挙げています。

私たちは、この度の事態に直面し、自然との向き合い方、鉄道の使命や公共交通の一員としてのJR北海道の存在意義を再認識しました。

余震が続く中ですが、引き続き「安全・健康第一」に心がけ、組合員同士が声をかけ合い、労使が一致協力し、この難局を乗り越えていきましょう！

連合の仲間をはじめ、心ある皆様と力を合わせ、地域の復旧・復興に努めていきましょう！

2018年9月13日

北海道旅客鉄道労働組合
中央執行委員会